

東日本大震災の災害廃棄物に関する緊急報告会
循環とくらし第2号発刊記念シンポジウム「ファッションと資源循環の共生を目指して」
同時開催

このたびの東日本大震災では、未曾有の大きな被害に見舞われました。被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。

すでに今後の復旧・復興に向けて、さまざま取り組みが進められておりますが、震災で大量に発生した災害廃棄物の早急な撤去・処分、および被災者の皆様の生活系廃棄物の収集・処分の早期回復は、早急に対応しなければならない重要な課題です。

廃棄物資源循環学会では、2011年3月18日に「災害廃棄物対策・復興タスクチーム」を発足させ、これらの課題に関するこれまでの知見の整理・発信、現地調査とそれを踏まえた分別・処理戦略マニュアルの作成等に取り組んできました。

一方、本学会では、おりしも4月30日にシンポジウム「ファッションと資源循環の共生を目指して」を実施すべく、準備をしておりました。そこでこの機会に、東日本大震災に関する緊急報告会を同時開催し、関係のみなさまはもとより、多様な分野のみなさまと情報を共有し、意見交換をさせていただきたく、下記のとおり本シンポジウムを企画しました。多数のみなさまのご参加を心よりお待ちしております。

記

- 日 時：2011年4月30日(土)
- 10:00～13:00 第一部：東日本大震災の災害廃棄物に関する緊急報告会
- 14:00～16:30 第二部：ファッションと資源循環の共生を目指して
- 16:30～**17:30** 第三部：短中期的にみた資源循環と廃棄物に係る課題
- 終了後、意見交換会を開催いたします。
- 会 場；日本大学理工学部1号館6階CSTホール（日本大学駿河台キャンパス）
〒101-8308 東京都千代田区神田駿河台1-8-14
- 企画 内容：次ページ参照
- 会 費：（シンポジウム第一部～第三部含む）
学会員：1万円、非会員：2万円 市民会員・学生：5千円
（いずれの会費とも義捐金5千円を含みます）
- 意見交換会参加費：2千円（会場：2階 カフェテリア）
- 申 込 み：参加をご希望の方は、下記事項をご記入の上、
4月28日(木) 正午 までに、メールまたはFAXでお申込みください
- ・お名前
 - ・御所属
 - ・御連絡先（メールアドレスまたは電話番号）
 - ・会員番号（会員の方のみ）
 - ・意見交換会参加予定の有無
- （定員になり次第、締め切らせていただきます。あしからずご了承ください）。

申込み先 : E-mail: apply@jasmcw.or.jp、Fax: 03-3769-1492

お問合せ : 廃棄物資源循環学会 事務局

(E-mail: apply@jasmcw.or.jp、Tel: 03-3769-5099)

主 催 : 廃棄物資源循環学会

●プログラム

■第一部：東日本大震災の災害廃棄物に関する緊急報告会

1) 学会長挨拶・趣旨説明 酒井伸一

2) 報告

1. 仙台市を中心とした現状報告 吉岡 敏明 (東北大学)
2. 災害廃棄物の発生量の推定 平山 修久 (京都大学)
3. 震災対応ネットワーク (廃棄物・し尿等分野) と環境省との連携
山田 正人 (国立環境研究所)
4. 現地調査とマニュアル作成への取り組み 浅利 美鈴 (京都大学)

3) 質疑

■第二部：ファッションと資源循環の共生を目指して

1) 趣旨説明

2) 報告

1. 繊維業界のリサイクルおよびエコに関する動き
木田 豊 (NPO ファイバーリサイクル推進協会)
2. 古着の行方 中野 總恭 (故繊維業者 ナカノ (株))
3. 無印良品の考えるリサイクル 赤峰 貴子 ((株) 良品計画)
4. 衣類の環境負荷と3R 山川 肇 (京都府立大学)
5. 製造過程における環境負荷低減・エネルギーレス等カイハラの取り組み
貝原 良治 (カイハラ (株))
6. “衣”との付き合い方～これでいいの？衣類のリサイクル～
岩地 加世 (環境カウンセラー 工房「桜梅桃李」)

3) 討論

■第三部：短中期的にみた資源循環と廃棄物に係る課題

特別講演：(仮) 短中期的にみた資源循環と廃棄物に係る課題－災害廃棄物対策を中心に
南川 秀樹 (環境省環境事務次官)

※なお会場では、UNSETSU INTERNATIONAL のエコファッション作品、ナカノ (株) の「よみがえ〜る」、カイハラ (株) のジーンズ・デニム生地など、関連する展示企画も実施します。

2011年4月25日更新